

1 4 国有林地帯における集落の特性と 森林管理のあり方についての考察

花巻営林署 吉田 一美

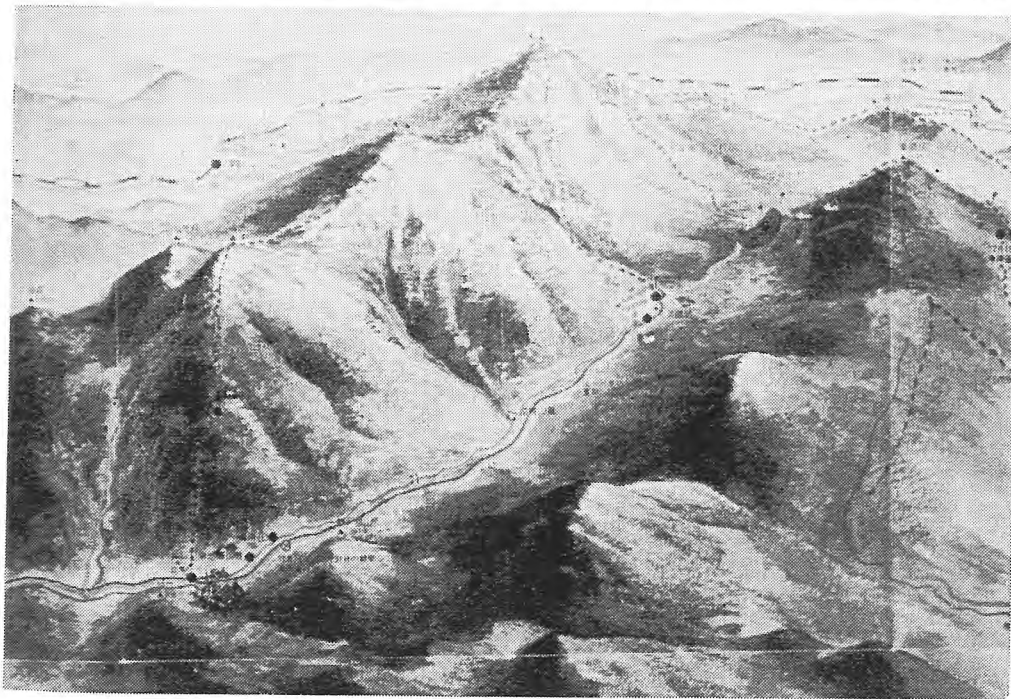
1 はじめに

林政の展開に当たっては、国有林・民有林が一体となった流域管理システムの展開、機能類型に応じた施業管理の実施など、新たな森林管理思想の転換が求められているが、国有林地帯において、森林に囲まれその自然環境と密接な係わりを持ちながら生活が営まれている早池峰山登山の入口の岳地区の現状を例に、地域の発達と森林管理のあり方について考察することとする。

2 岳集落と早池峰山の位置的特性

(1) 早池峰山と岳地区の位置的關係

早池峰山は、岩手県内で岩手山(2,041m)に次いで第2の高山で1,914mである。北上山地のほぼ中央に位置し、遠野市、大迫町、川井村の三市町村にまたがっている。岳地区は、大迫町の東北に位置し、周囲を国有林に囲まれた国有



林地帯である。早池峰山登山の3コースの内の一つで、早池峰山登山者の半分以上が利用している河原の坊コースの登山基地となっている。岳地区から河原の坊までは約2Kmで、河原の坊から早池峰山頂までの距離は約2.4Kmで

写 - 1 早池峰山周辺の概略図

徒歩で約3時間で山頂に達する。

(2) 早池峰山と岳地区の特性

早池峰山は、高山植物の種類が豊富で、しかも早池峰山固有のものや珍しい品種があることから植物分布学上の宝庫と言われる貴重な山である。その種類は、亜高山帯に生育するものも含めて200種が観察されると言われている。なかでもハヤチネウスユキソウは、アルプスのエーデルワイスに最も似ているとされている早池峰山を代表する花として有名である。



写 - 2 高山植物 (ハヤチネウスユキソウ)

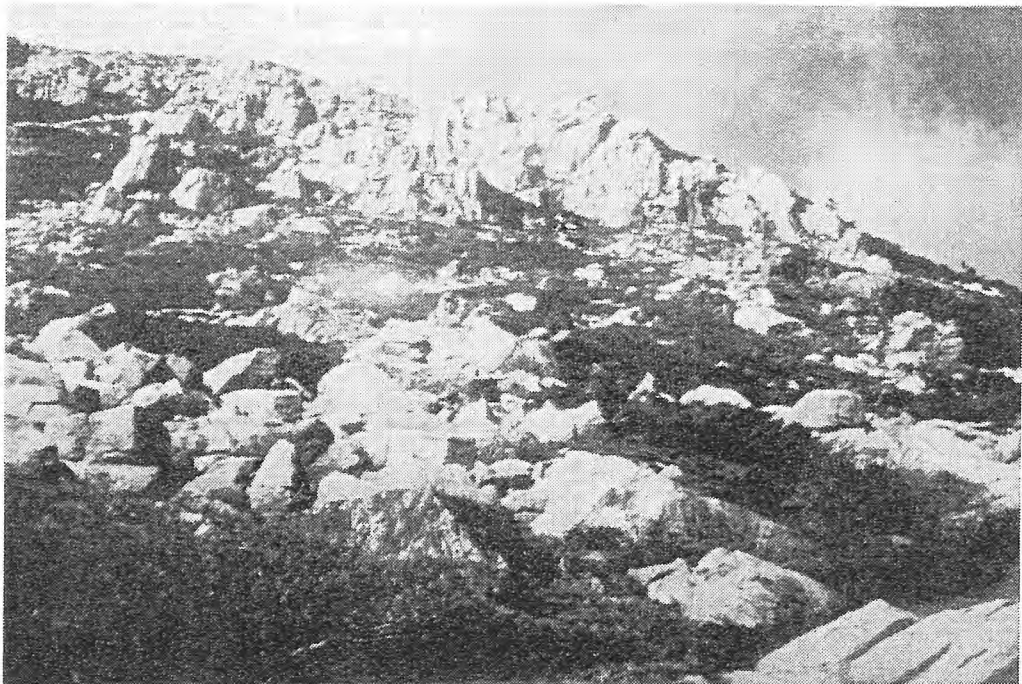


写 - 3 高山植物 (ナンブトウウチソウ)



写 - 4 高山植物 (ミヤマアツマギク)

また、地質は古生層を貫いて入ってきた質の固い蛇紋岩で、長い間の侵食作用に耐えて残ったモノドック (残丘) で、その生成の歴史は極めて古く第4紀の火山活動期にほぼ現在の高さをもってそびえ、長い間、氷河期の洗礼を受けてきた日本の最も古い山の一つと言われる。

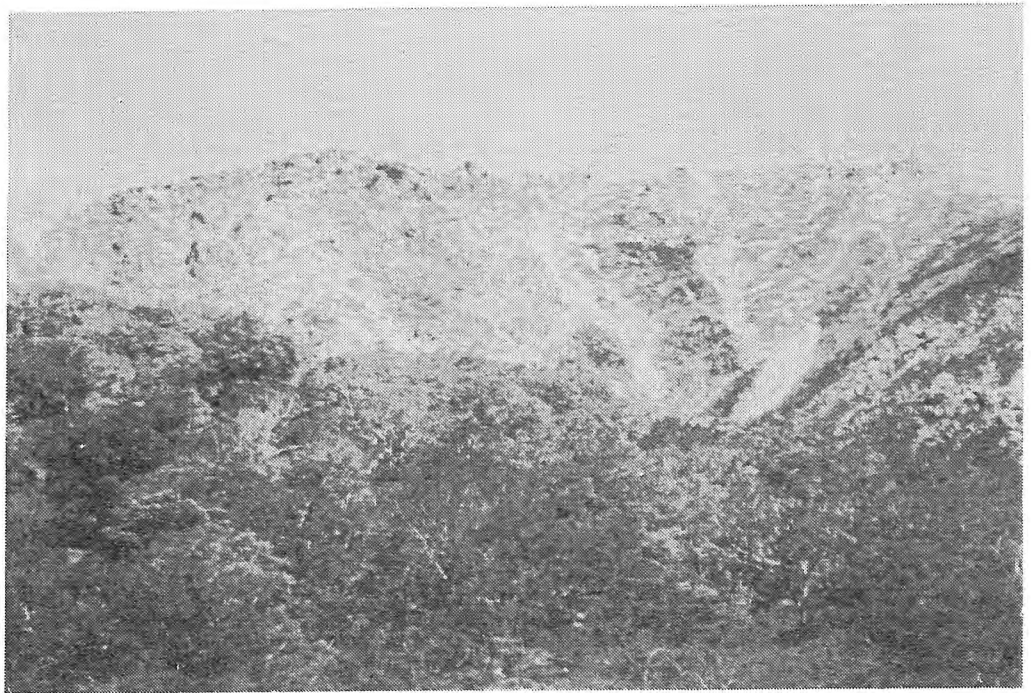


写 - 5 モノドック (残丘)

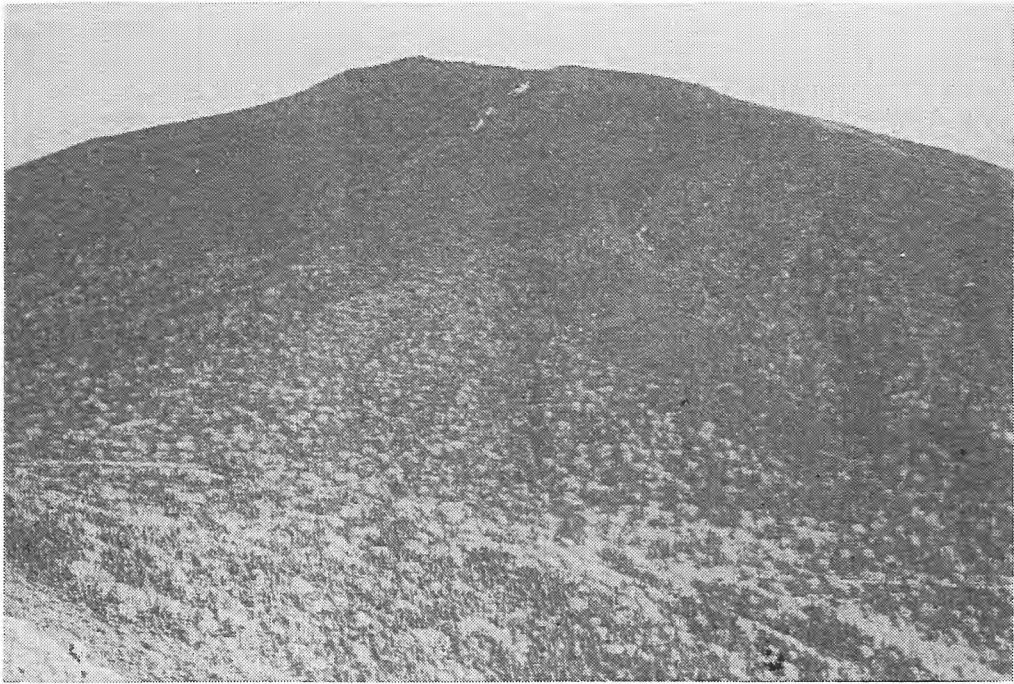


このようなことから、森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林管理・学術研究に資する目的で、平成5年度には薬師岳を含む一帯が「早池峰山周辺森林生態系保護地域」として設定されている。

写 - 6 生態系図と機能類型図



写 - 7 早池峰山

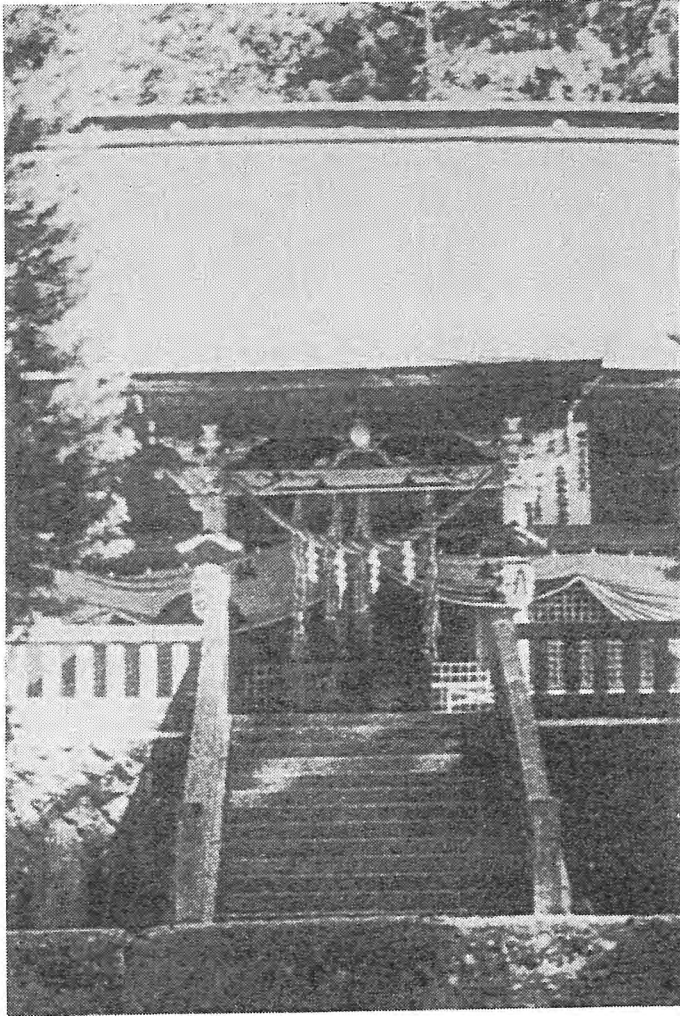


写 - 8 早池峰山から望む薬師岳

岳地区は、早池峰神社の門前で、14戸、70人が住んでいる。住民は、山伏の流れをくむ家柄で「相模坊」「和泉坊」の看板を下げ、登山客や参拝客のための民宿を営んでいる。また、早池峰山の山岳信仰の山伏達の祈禱の一つとして生まれた早池峰神楽は、600年以上の長い歴史を持つと言われ、昭和51年、日本の舞の源流を示すものとして「国の重要無形民族文化財、第1号」に指定されている。



写 - 9 岳集落



写 - 10 早池峰神社



写 - 11 早池峰神楽

3 早池峰山の自然環境の特性と地域発展に内在する問題点

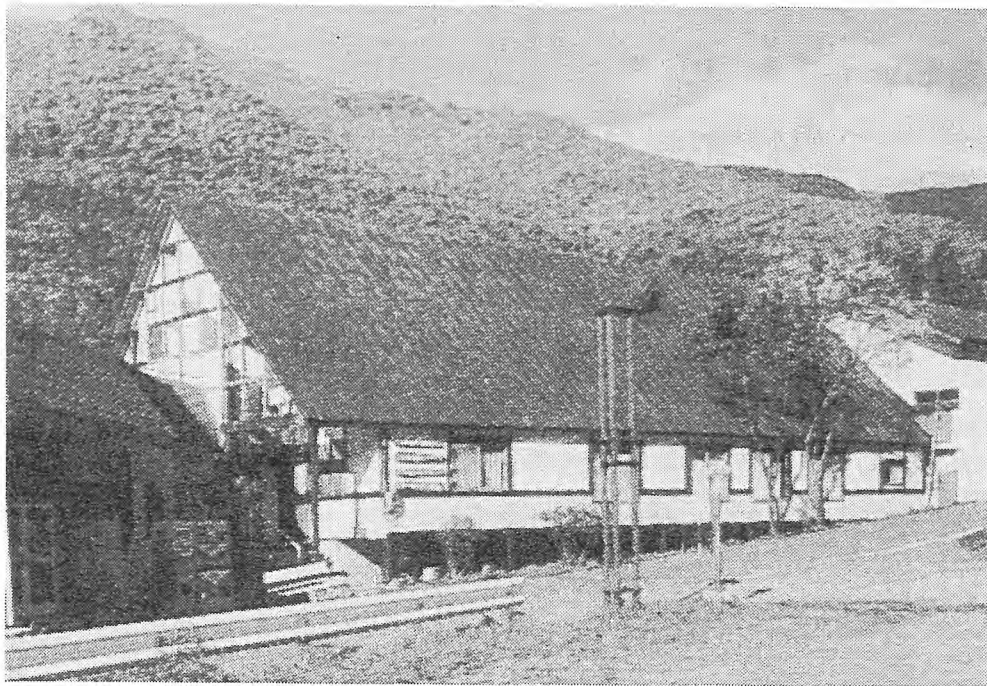
岳地区においては、早池峰山の登山と早池峰神楽の鑑賞に訪れる人々を受け入れるに当たって次のような問題点が内在している。

(1) 早池峰山観光の現状

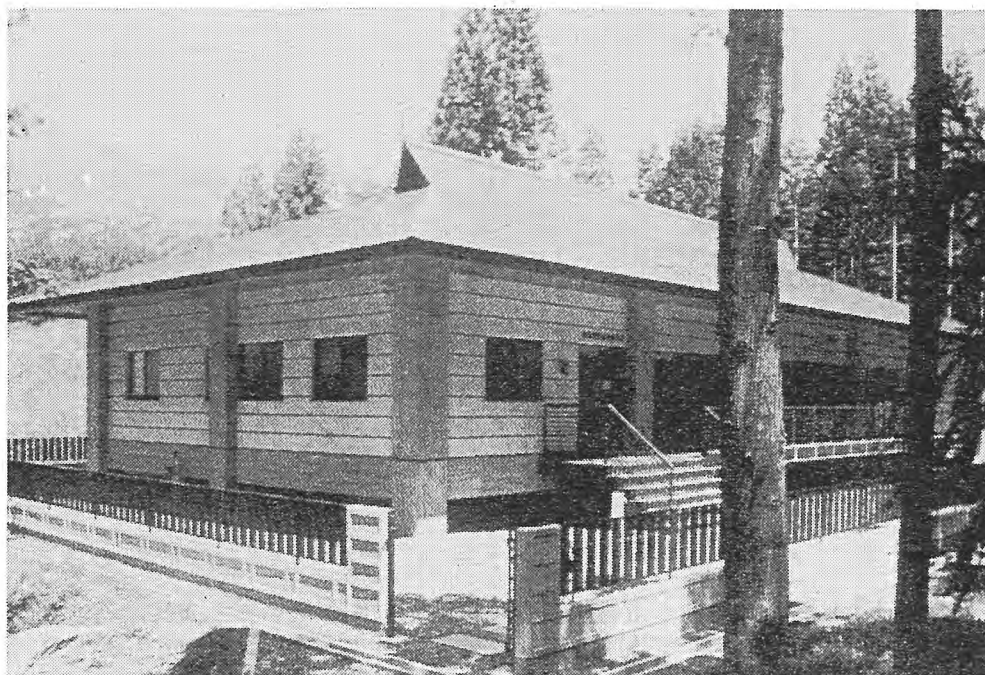
ア 観光施設等の設置状況

岳地区には、宿泊施設などとして和泉坊など8軒の民宿が営業されている。国有林を活用する施設としては、大迫町などの出資による第3セクターである早池峰山観光株式会社（昭和41年6月設立）が運営するレストハウス「峰南荘」と早池峰森林レクリエーション地区管理経営方針書に基づき、登山道、避難小屋、山荘などの施設とキャンプ場、河原の坊の駐車場などが設置されているほか河原の坊自然保護センターが設置され、高山植物の管理・保護に当たっている。

また、早池峰神楽の鑑賞に訪れる人々には早池峰神楽伝承館が設置されている。



写 - 12 峰南荘



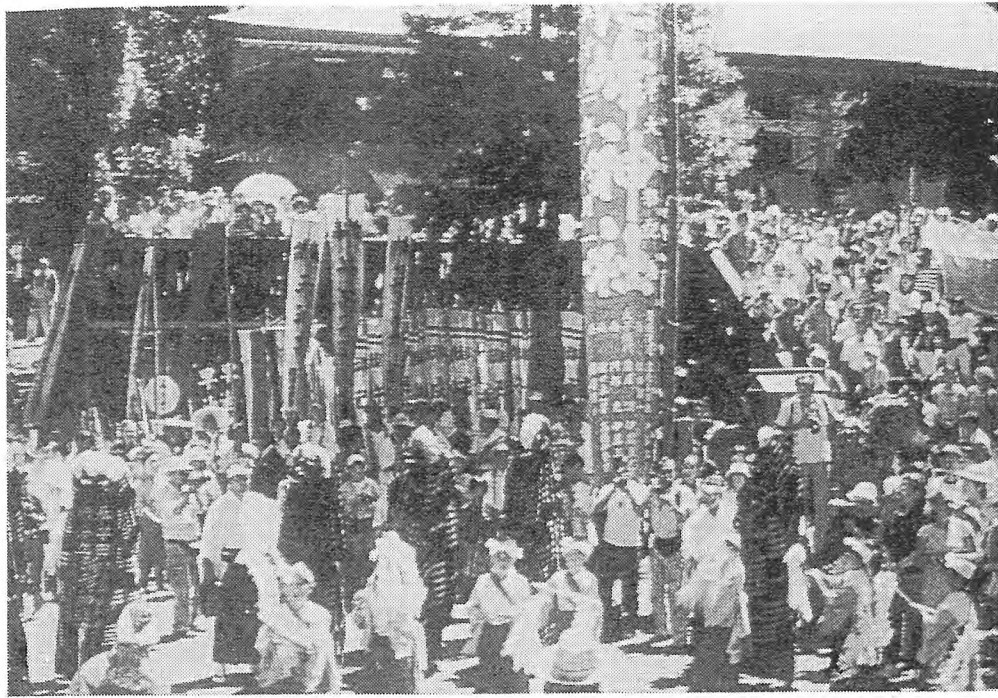
写 - 13 神楽伝承館

イ 観光入り込み者数の実態

岳地には、登山及び神楽鑑賞等を目的として宿泊者15千人強、日帰り者82千人強の10万人程度の観光客が訪れる。利用交通機関は、自家用車が64%、貸切りバスが21%、定期路線交通機関の利用が11%、その他が4%となっている。



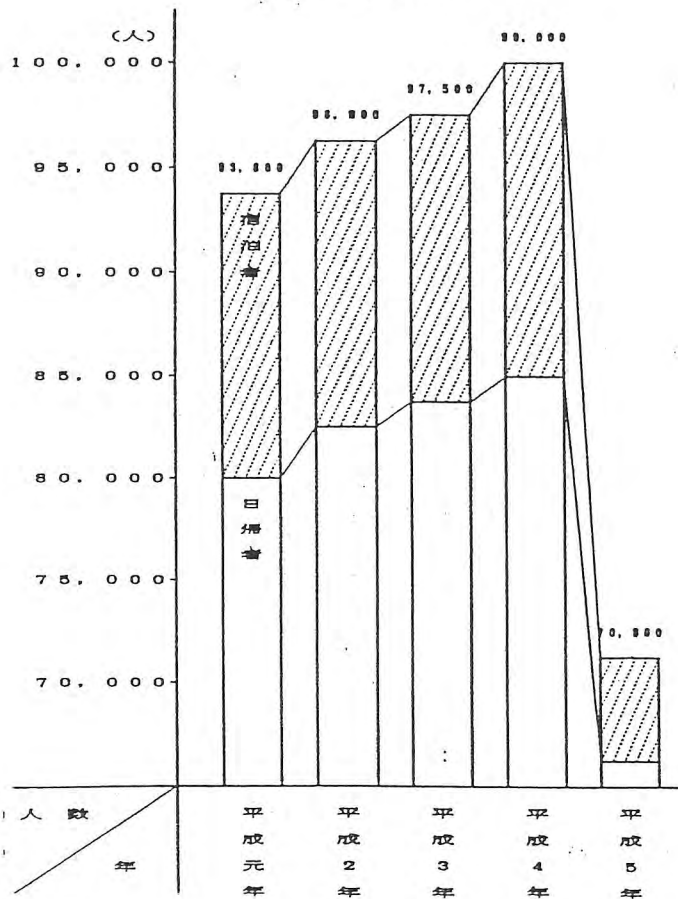
写 - 14 登山状況



写 - 15 早池峰神社例大祭

表

別表
早池峰山への入り込み者数の実態（岳地区）
（1月～12月）



早池峰神社への入り込み者数

(2) 発展過程において顕在化する問題点

- ア 自家用車を利用する入り込み者の増加に対して、受け入れ体制が十分整備されていないことから、登山シーズンの駐車場不足にともなう不法駐車、神楽開催時の交通渋滞及び駐車場不足など深刻な問題となっている。
- イ 県道「紫波～川井線」は、岳地域とその周辺における生活環境の向上に期待され、昭和34年に地方の主要道として早池峰山と薬師岳の中央を貫いて開通したが、利用者が多くなったことに伴い早池峰山周辺の生態系の破壊の原因とする主張と、一方、産業・交通の利便性を求める主張があり、登山者等の輸送体制のあり方とともに今後の取扱をめぐって問題が顕在化してきている。
- ウ 貸切りバスを利用した団体登山者による登山道周辺の高山植物の踏み荒らし等が見られるとともに高山植物の悪質な盗採もあり、高山植物の保護・管理上の問題となっている。
- エ 森林管理に当たって、自然環境の厳正な保護を求める意見と自然環境の保護を図りつつ木材資源の有効活用を求める意見の対立が内在する。

4 「地域の発達」と自然環境の維持・管理との共生

岳地区の発達には、当地区の立地的特性あるいは発展過程から考えて早池峰山周辺の自然環境の豊かさを追求し、共生することが求められる姿である。このことが自然・森林の管理及び地区の整備に当たって検討されるべき課題であり、それらの諸対策は地元自治体の対応と国有林の管理経営の密接な連携を図りながら進めていく必要がある。

(1) 地元自治体の対応

ア 地元自治体では、当地区の立地的特性を踏まえ、早池峰山の自然と地域の伝統芸能である早池峰神楽をキーワードとして各種活性化施策が展開されているが、その主な内容は次のとおりである。

(ア) 自家用車等で訪れる早池峰観光客対策及び岳地区の活性化を図るため、林業集落定住基盤整備事業において、国有林を活用して集落間林道、駐車場等の整備が進められている。

(イ) 早池峰神楽の保存、文化の発信基地、交流と共生、心の豊かさを求める早池峰神楽伝承館が建設されている。

早池峰神楽は、早池峰山神社の奉納神楽として正月の舞い始め、8月の早池峰山神社の例大祭、12月の舞納めに催され請願成就、無病息災、地鎮祭、厄払いの行事など地区の住民の生活とも深く結びついているが、早池峰山の自然と一体

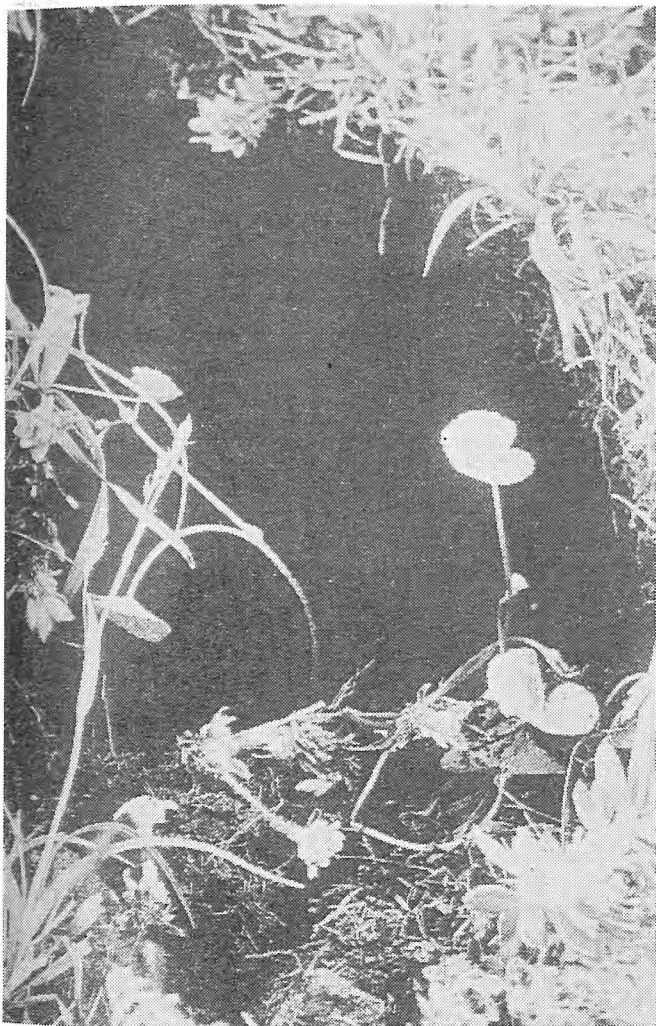
となって世界に、日本全国に伝統芸能として認められ岳地区の誇りとなって確実に定着し継承されている。

(ウ) 当地区の活性化構想で①自然と共生し、活力ある郷づくり、②水と緑の快適環境と心ふれあう郷づくり、とする中山間地域農村活性化総合整備事業の実施地区となっている。

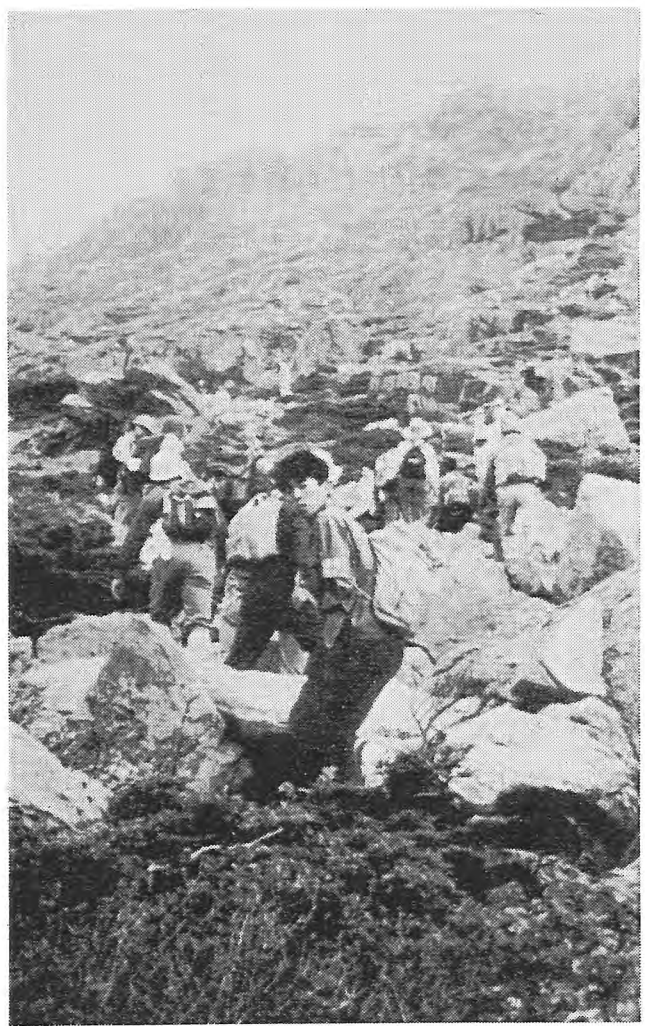
イ 自然環境の維持及び高山植物の監視、保護活動が関係各機関により展開されている。

(ア) 自家用車による入り込み者の抑制を図るため、定路線バスなどによる登山者の輸送対策が行われている。

(イ) 団体登山者に対する注意の喚起、国、県、関係市町村及び自然監視員などの関係者により監視など高山植物の管理体制の強化が図られている。



写 - 16 高山植物盗採現場



写 - 17 パトロール状況

(2) 国有林野の管理における対応

国有林野事業の展開に当たっては、地元から要請のある活用案件について事業実行との調整を図りながら、適切に対応していくとともに生態系保護地区の管理計画書に基づく適切な管理及びその他の森林にあっては自然環境に配慮しながら機能区分に応じた森林施業を行う必要がある。

ア 地元自治体と密接な連携を図る。

国有林地帯であることから自治体の諸施策の展開に当たっては、ほとんどの案件で国有林の活用が伴い、森林事務所を初め組織のそれぞれの段階において連携の強化に努めている。

イ 国有林管理における必要な対応

(ア) 早池峰山の自然環境をめぐる、平成5年度に国民の要請に応え設定した「早池峰山周辺の森林生態系保護地域」の適切な管理に努める必要がある。

(イ) 国有林野事業の実施に当たっては、自然環境の維持に、より配慮しながら機能区分に応じた適切な森林施業の展開が求められる。

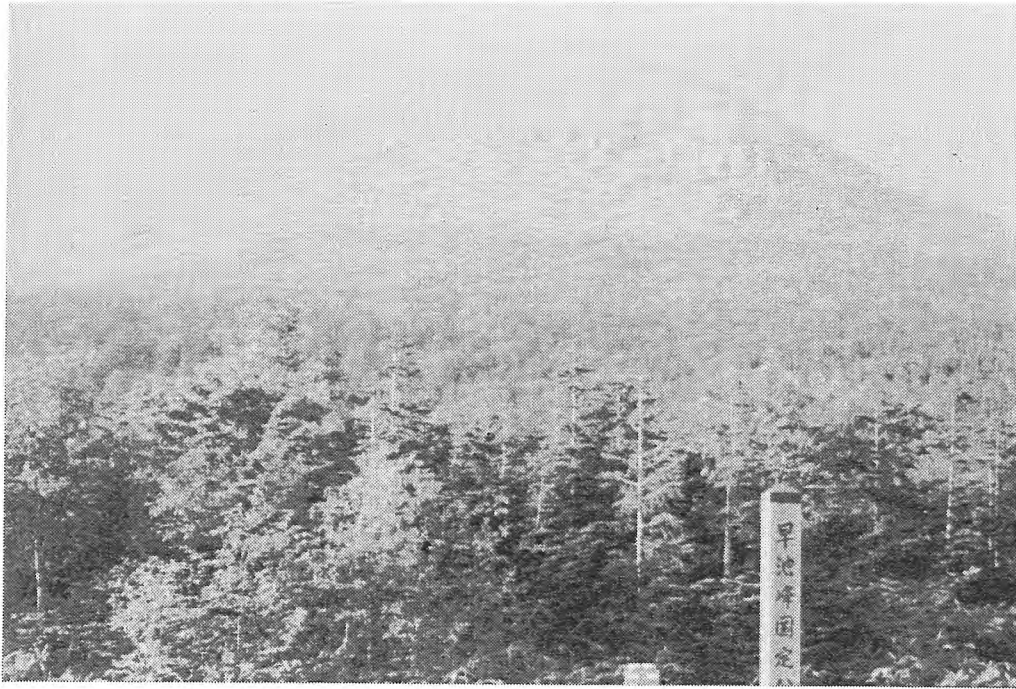
(ウ) 森林空間利用林の活用は、既存の森林レク施設の利用率の向上が期待され、地域の発展にも寄与できるものである。

岳地区から早池峰山に至る県道沿いを森林空間利用林に設定しているが、その活用にあたっては、既存施設との関連性を保ちながら散策歩道の設置或いは周辺の林況をレクの森に適した森林内容に整備するなどにより、入り込み者の自然を求める多様な目的に応える必要がある。このことが増加する入り込み者の分散に効果があり、利用者に対するサービスの向上にもつながるものと考えられる。

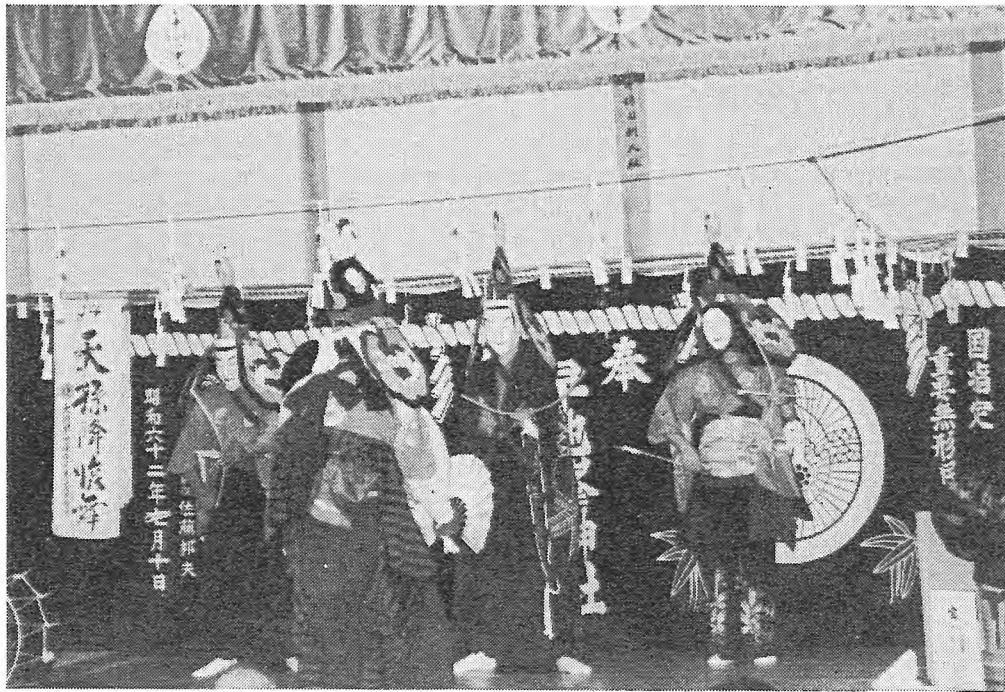
5 おわりに

岳地区は、早池峰山の自然環境と共生し、600年に及ぶ歴史を有する山伏神楽と呼ばれる早池峰神楽を生み出し、地域の住民の誇りとして心の中に伝承され、今日においても伝統芸能としてその文化的価値が評価されている。これは国有林である早池峰山を主とした自然・森林と岳地区の住民との係わりの歴史でもあり、今後においてもこの環境は変わることがないと思われる。

地元の森林官として、より豊かな自然環境の造成と地域の発展との共生のあり方、国有林の地域に果たすべき役割を考え、地元自治体、地域住民と連携を密にしながら国有林の森林管理を適切に実行していく考えである。



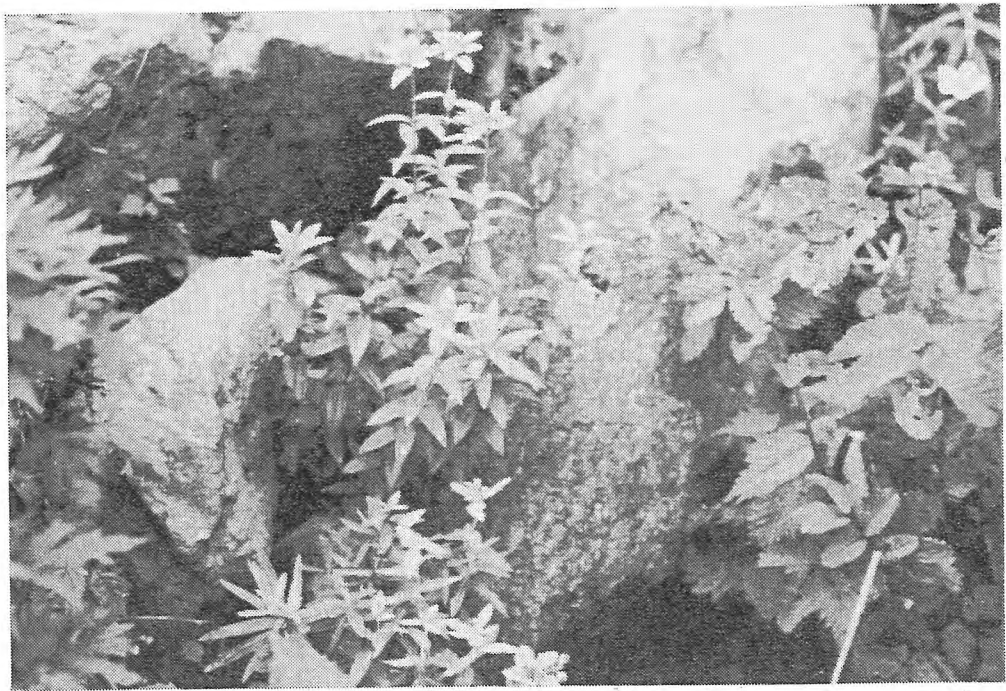
写 - 18 早池峰山



写 - 19 早池峰神楽



写 - 20 高山植物 (チングルマ)



写 - 21 高山植物 (ウスユキソウ)



写 - 22 高山植物 (ミヤマキンバイ)



写 - 23 高山植物 (ミヤマオダマキ)



写 - 24 高山植物 (ナンブイヌナズナ)



写 - 25 高山植物 (ヨツバシオガマ)